

履修コード/科目名称	215301 / 教育課程論		
開講年度・期	2019年 後期	開講曜日・時限	水曜日 1時限
単位数	2		
付記	◎予		
主担当教員氏名(カナ)	角野 善司 (スミノ ゼンジ)		
副担当教員氏名(カナ)			
授業概要	<p>本講義では、カリキュラムとは何かという根本的な問いから、教育課程に関する基礎的知識を概観する。次いで教育課程の国家基準である学習指導要領の歴史的変遷を辿ること、学校教育の教育活動の全体的な計画である教育課程の意義を考える。そして、新学習指導要領改訂の社会的背景を紹介した上で、新学習指導要領の内容を精読することを通して、教育課程の役割・機能や、編成の方法について理解する。あわせて、望ましいカリキュラム編成のあり方を先進的事例の検討を通じて考える。</p> <p>受講者の理解を深めるため、リアクションペーパーを活用して、講義内容の理解度を毎回確認し、必要に応じて次回講義時にフィードバックを行なう。また、講義内容や必要に応じて、参加型アクティビティを取り入れ、受講者の主体的な学びを促す。</p>		
到達目標(ねらい)	<p>学校の教育活動を進めるにあたっては教育課程に関する理解が欠かせない。本講義では、教育課程に関する基礎的な知識を身に付け、教育課程や学習指導要領の役割・機能を知り、社会に開かれた教育課程を編成する意義と編成方法を理解することができるようになることを目標とする。</p> <p>社会に開かれた教育課程とは、ITの発達などとも相まって今後予想される大きな社会変化に備えようとするものであるが、その編成には、幼児・児童・生徒の発達の段階や学校・地域の実態等を踏まえるのはもちろん、教科・領域・単元・学期・学年を横断するなど各学校の創意工夫が求められている。加えて、家庭や地域社会と連携しつつ、カリキュラム編成・実践・評価というプロセスを積み重ねていくこと、つまりカリキュラム・マネジメントが必要となる。そうしたカリキュラム・マネジメントの意義を理解し、カリキュラム編成における教師の主体的・創造的な役割を考えられるようになることも目指す。</p>		
授業スケジュール	第1回	イントロダクション 教育課程・カリキュラムとは	
	第2回	教育課程の社会的役割と機能	
	第3回	学校教育と教育課程	
	第4回	学習指導要領の変遷(1) 1945年版から1968年版まで	
	第5回	学習指導要領の変遷(2) 1977年版から2008年版まで	
	第6回	新学習指導要領の社会的背景と改訂のポイント	
	第7回	新学習指導要領の精読(1) 中学校学習指導要領 総則	
	第8回	新学習指導要領の精読(2) 高等学校学習指導要領 総則	
	第9回	新学習指導要領の精読(3) 各教科科目の目標・内容	
	第10回	指導計画の基礎的理解(年間指導計画、単元指導計画、学習指導案)	
	第11回	教育評価とその意義	
	第12回	社会に開かれた教育課程、カリキュラム・マネジメント	
	第13回	教育課程編成における学校・教師の役割	
	第14回	学校におけるカリキュラムの実際と今日的課題	
	第15回	まとめ・理解度の確認テスト	
準備学習	<p>事前学習：教科書の該当箇所を精読すること。また、適時事前課題を課するので解答すること。</p> <p>事後学習：教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読すること。また、授業で紹介されたWEBページ等の関連資料にあたり、さらに学習を深めること。前回の授業内容を十分に理解していなければ、次の授業は理解できない。毎回の小テストに合格するためにも、授業外学習を欠かさないように。</p>		
履修上の留意点等	・初回の授業で、本講義を受講する上での注意事項やレポート・試験等について説明す		

	<p>る。必ず出席すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この講義は、教職課程の科目として開講される。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨むように。 ・YeStudyを活用する。
成績評価の方法	50 % 試験
	50 % レポート
	小テスト
	平常点
	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業の終わりに小テストを行う。その日に取り上げた内容から出題し、全問正解した場合に限り合格とする。合格回数が一定基準に満たなければ、単位認定の対象としない。 ・適時課す課題の提出状況・内容に基づく評価も、単位認定の前提とする。
教科書/テキスト	<p>中学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省） 高等学校学習指導要領（平成30年3月告示 文部科学省）</p>
参考書 ▶ 図書館蔵書検索	必要に応じて授業中に紹介します。
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	「教科書・配付資料等は授業内容を理解するうえで効果的ですか」「この科目の授業内容についてよく理解できていますか」「あなたはこの授業の到達目標を達成できると思いますか」の質問で、いずれも全学平均を上回る高い評価を得た。教材の工夫をさらによく心掛け、学習の促進につなげたい。
関連リンク	<p>学習指導要領ウェブサイト：文部科学省 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/index.htm</p>
実務経験がある教員による授業科目	